

旧石器ハテナ館だより

せんとうき

尖頭器



尖頭器とは、主に旧石器時代に使われた狩猟具です。

旧石器ハテナ館
(史跡田名向原遺跡
旧石器時代学習館)
神奈川県相模原市中央区
田名塩田 3-23-11
042 777 6371
平成 27 年 12 月 21 日
【第 29 号】

旧石器ハテナ館まつり

今年の旧石器ハテナ館まつりは、雨天のため延期をして 10 月 18 日(日)に開催しました。

毎年大人気の「石蒸し料理体験」は受付開始から瞬く間に定員に達し、キャンセル待ちに回っていただいたり、お断りをしたりしなければならないほどでした。石蒸し料理は、朴葉に肉や野菜などの食材を包み、焼いた石の上に乗せ、そこに芭蕉の葉や土をかぶせて、30 分ほど蒸せば完成です。料理はいい具合に出来上がり、体験した皆さんから「とてもおいしい!」「ちゃんと蒸し上がっているのが不思議!」などの声があがり、大好評でした。



石蒸し料理体験

公園では「弓矢の射的体験」が行われ、参加者は動物型の的めがけて矢を放ちました。また途中で行われた「射的コンテスト」は得点を競う真剣勝負で、1 位から 3 位には賞状と豪華な景品が授与され、景品を手にした子供たちは大喜びでした。その他にもハテナ館側の会場では「火おこし体験」や「縄文ペンダント作り」、「クイズラリー」、公園内では「縄文服を着てみよう」や「水生生物に触れてみよう」のコーナーがあり、どこも大人気で、子供だけでなく大人も一緒に参加していました。



弓矢の射的体験

今年も「ハテナ館と地域をつなぐ会」の方々が焼きそばや焼き鳥などを販売しました。中でも天然のアユの塩焼きはすぐに完売してしまうほどの盛況ぶりでした。

そして相模原市公式マスコットキャラクターの「さがみん」が遊びに来て、来場者の皆さんと楽しく触れ合いました。

今年の旧石器ハテナ館まつりもボランティアや各団体、地域の方々のご協力のおかげで大成功となりました。また来年も楽しいお祭りを企画しますので、ぜひ遊びに来てください。



縄文服を着てみよう



水生生物に触れてみよう



縄文ペンダント作り



火おこし体験



上溝を見る 知る 学ぶ

秋の文化財探訪は、相模原市の文化財調査・普及員を中心に案内役となり、歴史のある上溝を巡りました。上溝は鳩川、姥川、道保川と湧水に恵まれ、古代から人々が生活しており、明治以降は商業の中心として栄え、町役場が置かれるなど相模原の政治・経済の中心地となりました。

JR 上溝駅をスタートし、商店街の歩道に埋め込まれた昔の建造物や上溝祭りの絵タイルなどを見ながら、市場開設 50 周年記念碑に到着しました。現在の「まつり通り」では明治から戦前にかけて、毎月 3 と 7 のつく日に市（溝市）が開かれ賑っていました。また隣には相模原市登録有形文化財の芭蕉句碑があります。記念碑から 5 分程の所に武相観音霊場 30 番札所の元町観音堂があり、ここは養蚕や安産にご利益があると言われていました。次に鳩川に架かる千年橋と宝光寺（曹洞宗）に向かいました。どちらも石造物が多く、千年橋には「上の不動」と呼ばれる不動明王像が、宝光寺には上溝で初めて種痘を行った「井上篤斎の碑」などがあります。

上溝駅の南にある御鎮座 800 年の亀ヶ池八幡宮では、禰宜さんから直接お話しをうかがうことができました。祭神は応神天皇で、御神体は暦応 4 年（1341）に造られた木造神像坐像で市の指定有形文化財となっています。昨年、神門や社殿が再建され、化粧裏板に亀の形をした空気孔が施されているのを見ることができました。また通常公開されてない神池も見学することができました。



亀ヶ池八幡宮

次は番田にある安楽寺（真言宗智山派）に寄り、清水家旧主屋・長屋門を訪れました。清水家は養蚕の歴史を見るうえで貴重な建物で、相模原市立博物館には 1/20 の模型があります。最後に上溝甲 7 号遺跡を回りました。ここから、縄文時代の琥珀製のペンダントや翡翠製の玉（未成品）が出土しています。今まで通り過ぎていたところが遺跡だったことに多くの方が驚いていました。

参加者の皆さんは熱心に解説に耳を傾け、上溝の魅力を再発見できたようでした。



普及員による宝光寺の解説

イベント情報 (お問い合わせは旧石器八テナ館まで)

- ・ミニ展示「相模原の古墳群～東原古墳・谷原古墳群～」併設展「文化財保護ポスター展」

1月23日(土)～3月21日(月・祝)まで 観覧料：無料 全日開催

※文化財保護ポスター展は1月30日(土)～2月14日(日)まで

- ・連続講座「旧石器・縄文時代の石器」

2月6日(土)「実践！石器を作ってみよう」 2月13日(土)「実験！石器を使ってみよう」

講師：御堂島正氏（大正大学教授） 定員：20名（申込順） 参加費：100円

- ・講演会「古代相模の文書と木簡」

3月6日(日) 講師：中村順昭氏（日本大学教授） 定員：100名（申込不要）

